

楽しかったこと、悲しかったこと、思い出、地域のできごと、イラストやマンガ、エッセイ、サークルのお誘い、趣味や宝物、広報へのご意見・ご感想などどしどしお寄せください。あなたの住所、名前、年齢、電話番号も忘れずに。投稿された人には、記念品を差し上げます。

読者の皆さんの声です。

ひろば

私たち「介護予防サポーターリーダー5期生」です!!よろしくお願ひします

体験交流型イベント
ちよつくらふれ旅の参加者受付が始まります

私たちは、町民の皆さんの健康づくりや町づくり等のサポート支援をさせていただきます。今後、地域づくり・介護予防を目的とした教室や活動等でお手伝いをします。皆さんよろしくお願ひします!!

※介護予防サポーターリーダーとは、介護予防サポーター養成講座を9回受講した町民の皆さんです。



『高齢者のための地域づくり』の活動に参加してみませんか?

● 鞍手町地域包括支援センター

町の介護予防サポーターリーダーと一緒に、各地域で歩いて行ける距離に『通いの場(介護予防の活動等を行う場)』を作るための活動に取り組んでいます。通いの場に参加できる対象者については、地域ごとで決めていく予定です。



一緒に地域づくりの活動に取り組みませんか。地域づくりやボランティアに興味がある人はご連絡ください。

● 問い合わせ 地域包括支援センター ☎ (43) 3019まで

地域の素材を使うためのづくり体験など、ここでしか味わえない「直方・鞍手地域の魅力」を体験してみませんか。



内容については、役場で配布するリーフレット(または左記QRコード)でご確認ください。

● とき 7月22日(金)から11月30日(水)

● 受付開始 7月11日(月)から

● ところ 直方・鞍手地域の各開催場所

● 参加方法 予約制。リーフレット(または下記QRコード)で内容をご確認いただき、各体験プログラムの連絡先までお申し込みください。



● 問い合わせ 株式会社NOTE ☎ 0948 (52) 3244まで

鞍手町老人クラブ連合会主催 ペタンク大会を制したのは城ヶ崎つくし会Aチーム!!

● 鞍手町老人クラブ連合会

5月24日、総合福祉センターのグラウンドで鞍手町老人クラブ主催ペタンク大会を行いました。今回の大会は、全26チーム78名、69歳から90歳までの選手が参加しました。なお、大会の結果は次のとおりです。(丸数字は順位とチーム名です)

● 結果 ①城ヶ崎つくし会A ②大池寿会B ③弥生若生会E



広報ぎやらりー

すてきな作品をお待ちしています

ねんど細工や絵、書、紙細工、陶芸、俳句、短歌など自慢の一品は、ありませんか。「広報ぎやらりー」では、紙面を彩るあなたの作品をお待ちしています。作品についての100字以内の感想もお願いします。役場政策推進課 ☎ (42) 2111まで、ご連絡ください。

短歌

植村隆雄さん
(くらじ短歌会)

父の日に頂くプレゼントは、シャツやゴルフ用品が多い。感謝しているが少々持て余し気味だ。今年は長女の婿より古酒が届いた。酒好きの心情を察してくれたのが嬉しい。日本歌人クラブ優秀賞に選ばれた一首である。

父の日に十年物の古酒一本
婿がいちばんわれを識りたり

パッチワーク

原 松子さん



干支のタペストリーとのぼり鯉です。

洋裁

広畑律子さん
(洋裁教室)



羽織からブラウスを前衿ぐりにギャザーを寄せて作り、キュロットスカートと合わせました。



ほん 大好き

Book

INFORMATION

今月新しく 入りました。

※7月の新刊は、1日(金)から貸し出しを始めます。

📖 一般の本

- ・裏家電 (著=嶋戸 悠祐)
- ・ついでにジェントルメン (著=柚木 麻子)
- ・マイクロスパイ・アンサンブル (著=伊坂 幸太郎)

📖 子どもの本

- ・へやぼしズボンさん (作=たごもりのりこ)
- ・サンサロようふく店 (作・絵=アン・ゼソン)
- ・てがみがきたな きししし (作=網代 幸介)

中でもこの本が **オススメ** です。

ショートケーキ。

著=坂本 司

『失われたホールケーキの会』を作り、やりきれないことが起こるたび友人と2人でホールケーキをたべる大学生のゆか。ショートケーキを食べられなくなる日が来るなんて思いもしていなかった、新米ママのあつこ。たくさんあるケーキの種類の中でも、変わらぬ人気を誇る「苺のショートケーキ」。この本はそんなショートケーキをめぐる、5つの物語の連作集です。



ヤングさんのオーケストラ

作=なかえ よしを

ヤングさんは世界的に有名なオーケストラの指揮者で、音楽会はいつもお客さんでいっぱいです。そんなヤングさんが、ひとりの記者にたずねられました。「しきしゃを めざした きっかけは?」「ええと……」ヤングさんが指揮者を目指すことになった、少年時代のあるきっかけとは…?



広がる本だな

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は石松一葉さんです。

ありがとう、ごめんね、そしてさようなら
—家族からのラブレター—

編著=重松 清

家

族だから恥ずかしくて言えない『ありがとう』『ごめんね』そして言いたくない『さようなら』。この本はラジオ番組に投稿されたリスナーからの『私の物語』を書籍化したものです。『ひとは誰もが、一生のうちに一編の小説が書ける』という言葉があるが、著者は言います。長い人生の中ではほんのひとコマで済みます。

マにしか過ぎないエピソードが、忘れがたい深い印象を残すことがあります。一つ一つ文章の後に重松さんの言葉が続きます。『お弁当バッグ』に添えられた言葉が心に沁みてきます。



カカ・ムラド—ナカムラのおじさん

原作=ガフワラ
訳=文=さだまさし他

援先のアフガニスタンで亡くなった中村医師は終戦の翌年1946年に福岡県で生まれました。幼い頃から自然が好きで、31歳の頃にアフガニスタンとパキスタンの国境にそびえる山々に登ったことが、人生の転機となりました。その後パキスタンや難民キャンプで診療を行い、命を救うために清潔な水が必要と考えました。

『平和には戦争以上の力があり、平和には戦争以上の忍耐と努力がいる』この本は、アフガニスタンで出版された2冊の絵本『カカ・ムラド—ナカムラのおじさん』と『カカ・ムラドとまほうの小箱』をまとめたものです。遠い国から届いた物語です。

